



PRESS RELEASE

2008年1月4日

森トラスト株式会社

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-3-17
虎ノ門2丁目タワー
TEL 03-5511-2255 FAX 03-5511-2259
URL <http://www.mori-trust.co.jp>

2008年 年頭所感 ～これからの経営戦略～

2008年は、サブプライム問題の影響等、世界経済・日本経済ともに不確実性が高まっており、事業環境も変化することが予測される。こうした「変化の時代」に、森トラストグループは、リスク耐性の強化と同時に多様なビジネスチャンスの開拓期と位置づけ、事業を展開していく。

当グループは2006年、森トラスト(株)を「不動産事業」「ホテル&リゾート事業」「投資事業」の3事業部制に組織再編したことを端緒に、グループの第3ステージとして多業種多企業を包含した複合企業体経営を推進している。これは、永年蓄積した豊富なノウハウを持つ3事業を主軸に、強い資産ポートフォリオ、事業ポートフォリオを構築するためである。

不動産事業では、今年新規プロジェクトとして、1月に仙台中心地の約五千坪の敷地で展開する「仙台一番町プロジェクト」の着工、11月に東京駅隣接の「丸の内トラストタワー本館」竣工が控えている。昨年落札した「虎ノ門パストラル」跡地再開発計画も検討を進めていくことになる。既存のビルについては、建替えや売却などによって新陳代謝を行っていく。競争力のある資産ポートフォリオを構築した上で、未稼働物件などの余裕も持ち、事業環境の変化への耐性が強い事業体とする。

ホテル&リゾート事業では、創業した「ラフォーレ倶楽部」のホテル施設のリニューアルや、ブランディングの強化などを行い、内部からの新陳代謝も積極化していく。

投資事業では、企業へのM&Aやベンチャー投資、ファンド組成などを行っていく。不確実性の高い社会状況というのは、投資案件も活発化することが予測される。多様な事業を取り込むことで変化への耐性を強化すると同時に、新たなビジネスチャンスの開拓としても位置づけ、積極的に展開する。

資産、事業の両面から強いポートフォリオを構築することで、諸関係者やビジネスパートナーと共に発展する共栄のビジネスモデルを創造し、社会から信頼される有益な事業を推進していく。

[森トラストグループ 代表 森 章]